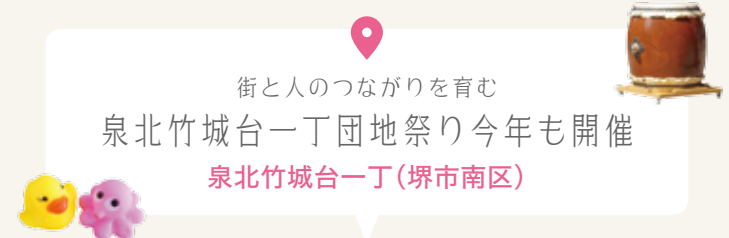




団地TOPICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。



9月30日、秋晴れのもと泉北竹城台一丁目団地祭りが開催されました。

住民の高齢化や団地自治会の会員数が減少する今こそ地域の結束を高めようという趣旨で昨年に初めて実施された祭り。団地自治会や民生委員会などからなる実行委員会を中心に地元企業、関西大学などが協賛し、2回目となる今年は校区の竹城台東小の協力も得て児童ヘチラシも配布されました。認知度が上がったことで、昨年よりも多くの子どもが参加。射的やコイン落としなどを楽しむ子どもたちの元気な姿に、祭りを指揮する団地自治会長の伊吹肇さんも「街の活性化には子どもの存在が欠かせません。たくさん子どもたちが来てくれてありがたい」と喜びます。

広場では和太鼓サークル「拓」のダイナミックな演奏を皮切りに、竹城台東小PTAコーラスやよさこい演奏などが披露。USJのペアチケットなどが当たるお楽しみ抽選会で、大にぎわいのフィナーレを迎えました。「子どもと一緒に楽しめるので来年もぜひ来たい」というお母さんや「綿あめがおいしかった」と笑顔の小学3年生の男の子たちなど、みんな大満足。朗らかな子どもたちと、それを見守る大人たちの温かい目が住民同士のつながりを生み、地域活性化につながっています。



1. 勇ましい和太鼓で華やかにスタート！ 2. 射的など関大生による手作り緑日に子どもたちも大喜び 3. 団地内の苔を使った苔玉教室も開催 4. お楽しみ抽選会で自転車当ったよ



10月1日、平城第2団地で自治会、(株)URコミュニティ奈良住まいセンター、日本総合住宅生活株式会社奈良支店(以下、JS)、近隣消防署の連携による団地合同防災訓練を開催。年配の方からお子さままで、団地にお住まいの方70人以上が参加しました。

訓練は避難場所である広場へ参集訓練の後、JSスタッフによる防災用品の紹介からスタート。東日本大震災での経験に基づき、いざという時に役立つ防災用品とその正しい使い方の説明に住民の皆さんは熱心に耳を傾けていました。その後、煙が充満する部屋を体感する煙避難体験や不測の事態に備える隔壁板破壊体験、水消火器体験、心肺蘇生法を含めたAED体験と、それぞれのケースに応じた対処法を学習。防災動画を上映して、最後に自治会メンバーが作った炊き出し食の試食会を行いました。日頃は意識する機会が少ない天災。いつ起こっても対応できる危機感を共有する貴重な訓練となりました。



1. 実際の災害発生を想定して、班に分かれての訓練 2. 震災で役立つ商品の使い方について、積極的に質問する団地住民の姿も見られました 3. 「コツはホースの先を持つことですよ」と使い方をアドバイス 4. 救急救命士によるAED体験では、適切な心肺蘇生法が人命を左右することを学びました 5. 自治会のメンバーによる炊き出し食は具材たっぷりの豚汁、訓練での緊張がほぐれます



10月7日、北緑丘団地22号棟集会所に「福祉なんでも相談窓口」がオープンしました。この相談窓口は地域のボランティア組織である少路・北緑丘校区福祉委員会が運営主体となり、豊中市の所定の研修を受講した福祉委員と民生委員が相談員として、「高齢になって家事ができない」「引越してきたばかりで地域のことがわからない」といった住民からの相談に対し、情報提供や関係機関との連携によって解決に導きます。相談には所定の研修を受講した地域住民が対応。北緑丘団地では団地にお住まいの男性ボランティア「無二の会」のメンバーも協力しながら開催しています。

この日は「ぐんぐん元気塾」もオープンし、豊中市オリジナルの健康体操とよなかパワーアップ体操を実施しました。下半身の筋力増強のための体操として考案されたこの体操は、いすに座ったままできる手軽さが特徴。定員を超える住民の皆さんが参加し、急きょ2回に分けて実施するほどの盛況となりました。

運営をサポートする豊中市社会福祉協議会の佐藤千佳課長は「地域を回っていると近所付き合いの希薄さを感じます。相談窓口と元気塾が住民同士の交流の場となり、心も体も健康になっていただければ」と話していました。

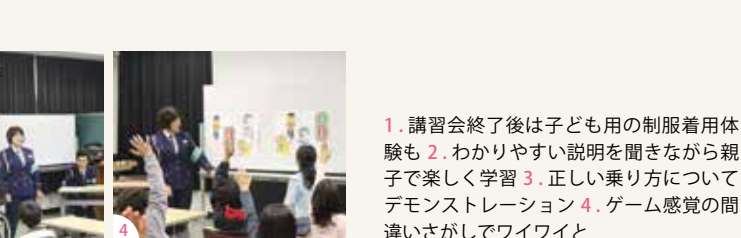


1. 相談窓口では、地域に関する情報提供から専門機関へのつなぎなど、幅広い相談内容に対応します。 2. 「1、2、3、4…」DVDに合わせてゆっくりと。いすに座ったままでも軽く汗をかくほど、温まります。 3. 元気塾では「筋筋通帳」を発行し、参加することにスタンプを貯める楽しみも。3ヶ月に1回、簡単な体力測定もできます。



「福祉なんでも相談窓口」は毎月第1土曜日・第2～4金曜日の10時から12時まで、「ぐんぐん元気塾」は同日の10時から30分間、いずれも22号棟2階集会所で開催しています。

車を使いがら指導員の方がデモンストレーション。夜間走行の際はなるべく目立つ色の服を着ること、そして自分の身を守るための自転車保険についてもDVDを鑑賞しながら学びました。最後はパネルを使った「間違いないさし」で盛り上がり、約1時間半の講習会は終了。子ども用の制服を着用して敬礼する姿もビシッと決まり、楽しいひとときを締めくくりました。



1. 講習会終了後は子ども用の制服着用体験も 2. わかりやすい説明を聞きながら親子で楽しく学習 3. 正しい乗り方についてデモンストレーション 4. ゲーム感覚の間違いさしでワイワイと

コミュニティニュース

中登美第3 (奈良市)

「団地を元気に」中登美アンバサダーが誕生

UR都市機構では、中登美第3団地の活性化をサポートしてくれる応援団「中登美アンバサダー」を今春から募集。団地内外から集まった8人の若者が、感性を生かした幅広い年齢層の心に響くつながり作りを目指して、7月から活動を開始しました。

アンバサダーが最初に取り組んだのは、中登美第3の風物詩ともいえる夏祭りの復活でした。メンバーの一人、安田希帆さんが「昔は団地中の至る場所に出店が出て、一年で一番楽しかった」と語る夏祭りは、2015年を最後に途絶えていました。メンバーが近隣のお店から協賛金を集めたり、出店を呼びかけたりしたところ、復活を後押しする声も多く、8月26日に2年ぶりの夏祭り開催が実現しました。

当日は、長年団地にお住まいの方から近隣に住むファミリー層まで多数が



1. いざイベントとなると、一致団結してチームカバツグンのアンバサダーの皆さん。メンバーは団地出身者、東京から転居してきた方など背景はさまざまですが、誰もが「季節ごとに花が咲き誇るこの団地が好き」と話します 2. 熱気に包まれる夏祭りの広場では、大道芸人ショーをはじめとするさまざまな出し物が喝采を博しました

中登美アンバサダーに参加したい方はお気軽にアンティーム(☎0742-41-5541)の加来真紀さんまでお電話を。Facebook「中登美第3団地」でも情報発信中！

vol.5

団地テナント 気になろお店

あきらめていた不調も改善 地域密着の整骨院

今年9月、男山中央センター商店街にオープンした「はちぼう整骨院」。ねんざや骨折をはじめとする痛みの治療だけでなく、体の不調に合わせた治療も手がけるのがオーナーの尾上征士さん。「不眠やめまい、日々のイライラなどの不調は自律神経の乱れや首や肩の張りなどによるものが多く、施術によって改善することがほとんどです」と話し、鍼灸院勤務の経験などを生かした施術は「完治をあきらめていたのが嘘みたい」とお客さまに好評です。

男山団地のすぐそばで育ち、現在は自身も団地内に暮らす尾上さん。「育った街に恩返しできれば」と、地域の人々のよりよい暮らしに役立つ整骨院を目指して、今日も営業しています。

SHOP DATA

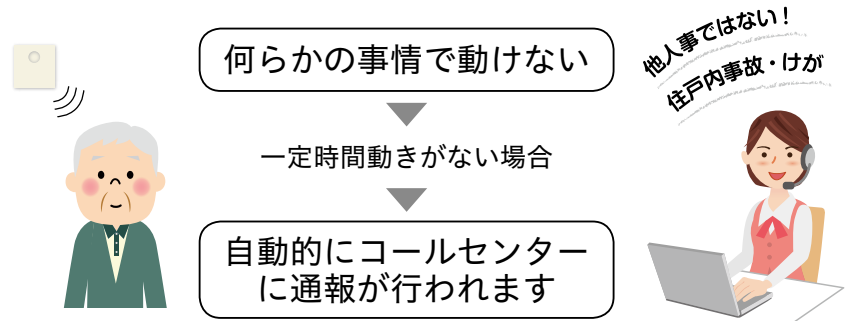
☎ 八幡市男山八望3-1 B50-106 ☎ 075-925-9905
①月～金曜 9:00～13:00、15:00～20:00 (土曜は9:00～14:00) ②日曜、祝日
③京阪本線「樟葉」駅からバス約8分、または「八幡市」駅からバス約11分、またはJR学研都市線「松井山手」駅からバス約20分「中央センター前」下車徒歩すぐ



1. 清潔感あふれる施術スペース。気持ちよく施術を受けることができます 2. マイクロ波治療器や電気刺激治療器など医療器具も充実しており、お客さまの悩みに合わせた施術が可能です 3. 「少しでも気になることがあれば遠慮なくお立ち寄りください」と笑顔で語る尾上さん

UR「見守りサービス」

見守り機器で日常生活を検知。異常を検知した場合、立山科学工業(株)の「コールセンター」からお客様・緊急連絡先にご連絡をするサービスです。



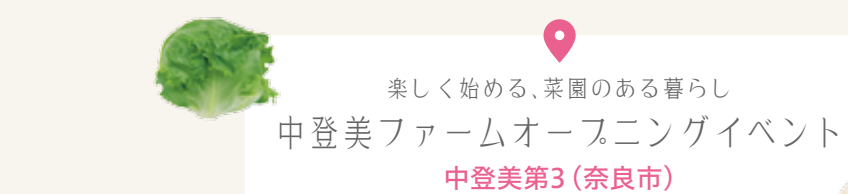
料 金
月額 900 円(税抜)

- ・初期費用(事務手数料・機器設置代)として6,590円(税抜)が別途必要です。
- ・約3年に1回の電池交換が必要となり、別途料金が必要です。(2,400円(税抜)/3台)

※見守りサービスは、お客様の救助や救命を約束するものではありません。
※見守りサービスは、UR 賃貸住宅の借主の方ならどなたでもお申込みできます(一部、サービスを提供できない住宅がありますのでご了承ください)

千里住まいセンター	☎ 06-6871-0515
大阪住まいセンター	☎ 06-6968-4455
泉北住まいセンター	☎ 072-297-5444
阪神住まいセンター	☎ 06-6419-4522
兵庫住まいセンター	☎ 078-242-2791
京都住まいセンター	☎ 075-256-3663
奈良住まいセンター	☎ 0742-71-2401

●営業時間/月曜日～土曜日(9:15～17:40)
●休業日/日曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日まで



中登美第3団地内の空きスペースを活用して作られた「中登美ファーム」。10月からのオープンを記念して、野菜づくりに関する講習会が10月15日に開催されました。受講者は、それぞれの畑で大根やレタス、菊菜やパクチーなど多彩な野菜づくりを楽しんでいる居住者の皆さん。外部講師である鈴木健太郎先生を迎え、集会所の一室で和やかなひとときを共有しました。

前半はスライドを見ながらの座学で、野菜づくりに関する不安や悩みを挙げてもらいました。これからの寒さ対策や春先の虫対策など、先生の説明に熱心にメモをとる皆さん。「水は根元にたっぷりと」「おすめは臭いのない堆肥」など、水や土についてのアドバイスはすぐに役立つものばかり。イラストを使った野菜のグ



ループ分けでは、ナス科・キク科・アブラナ科と3つの科があることを学びました。後半はキャベツの苗を使ったデモンストレーション。植え付けの方法や種まきのコツなど、先生の手に注目しながらまた新たな発見がありました。1時間半の講習会を終え、「とっても勉強になりました」「収穫できるような頑張ります」と笑顔の皆さん。「ぜひ力を合わせて長く続けてくださいね」と先生からもエールをいただきました。



1. 「次は収穫祭でお会いしましょう！」受講生の皆さんと鈴木先生 2. 野菜を「科」でとらえることは連作など様々なシーンで役立つそう 3. 土の押さえ方や種まきの間隔について、プランターを使いながらデモンストレーション 4. 計10区画の「中登美ファーム」では多彩な野菜がのびのびと



10月29日、平城第2団地で「自転車交通安全教室」が開催されました。当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、親子連れを中心にたくさんの住民の皆さんが集会所に集合。奈良警察署交通第一課と奈良市交通対策課交通指導員の方々より、交通についてのお話や自転車の乗り方についてのレクチャーを受けました。

「自転車は便利ですが危険な乗り物でもあるんです」と、警部補の日坂さん。「二人乗りをしたことがある人は？」の問いかけに「はい」と手を挙げてしまった少年に、思わず笑みがこぼれる一面も。自転車は車の仲間であること、歩道ではあくまでも歩行者が優先であることなど、保護者の皆さんも再認識することができたようです。乗車前の点検や正しい乗り方については、実際に自転



1. 講習会終了後は子ども用の制服着用体験も 2. わかりやすい説明を聞きながら親子で楽しく学習 3. 正しい乗り方についてデモンストレーション 4. ゲーム感覚の間違いさしでワイワイと